

**平成30年度**  
**事務事業別予算概要書**

**(下水道部関係)**



平成30年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
<b>第2節 安全で安心な暮らしを地域で支えあうまち -安心づくり-</b>						
<b>③災害や犯罪などのリスクに強い安全なまち</b>						
<b>2-8 自然災害に強いまちづくりの推進</b>						
			208 15	公共下水道事業(雨水)	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	..... 1
<b>第3節 環境と調和した生活しやすいまち -快適づくり-</b>						
<b>①魅力ある住環境の整ったまち</b>						
<b>3-5 快適な市民生活を支える汚水処理の推進</b>						
			305 3	公共下水道事業(汚水)	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	..... 2
			305 4	特定環境保全公共下水道事業	下水道管理課・下水道施設課	..... 3
			305 5	農業集落排水事業	下水道管理課・下水道施設課	..... 4

# 平成 30 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号 208 - 15	新規・継続	継続
<b>事務事業名</b>	公共下水道事業(雨水)	下水道事業会計	
<b>所 属</b>	下水道部 下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	総合計画施策体系	2 - 8

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

<b>目的</b> (何のために)	市街地において、豪雨時の道路の冠水や排水路の溢水による浸水被害から市民の生命、身体及び財産を守るため、浸水対策施設を整備し、自然災害に強いまちづくりを推進する。						
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	西条排水区、寺家排水区及び蛇道川排水区において内水浸水被害を被る住民等						
<b>事業の概要及びH30活動計画</b>	<p>1 計画的、効率的な施設の建設と更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストックマネジメント計画に基づく雨水排水施設の健全化を図る。</li> </ul> <p>【資本的支出 5,276千円】</p> <p>(1) スtockマネジメント計画策定事前基礎調査(雨水排水施設) (5,276千円)</p> <p>2 災害に強い下水道の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水対策施設の機能を維持するため、適正な維持管理を行う。</li> <li>・西条排水区及び寺家排水区(西条第二地区)における雨水管渠の建設工事並びに実施設計を行う。</li> </ul> <p>【収益的支出 22,241千円】</p> <p>(1) 管渠・ポンプ場管理(22,241千円)</p> <p>【資本的支出 186,000千円】</p> <p>(1) 雨水管渠実施設計業務(西条排水区、西条第二地区) (56,000千円)</p> <p>(2) 雨水管渠建設工事(西条排水区、西条第二地区) (50,000千円)</p> <p>(3) 雨水管渠建設工事負担金(西条第二地区) (80,000千円)</p>						
<b>活動・結果指標</b>	<b>【活動・結果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>28年度(実績)</b>	<b>29年度(目標)</b>	<b>30年度(目標)</b>		
	整備延長累計(西条・寺家排水区)	m	1,210	1,231	1,325		
<b>成果目標</b> (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	雨水浸水対策事業は、雨水排水管路等の対策施設の完成によって事業効果が得られるため、事業を実施する西条及び寺家排水区の管路等の整備率(整備延長累計/全体計画延長)を指標とする。また、西条1号雨水幹線が整備され枝線管渠の整備を行っている西条排水区においては、直接的な整備効果指標である床上浸水被害戸数を指標に加える。						
<b>成果指標</b> (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	<b>単位</b>	<b>28年度(実績値)</b>	<b>29年度(目標値)</b>	<b>30年度(目標値)</b>	<b>31年度(目標値)</b>	<b>39年度(目標値)</b>
	整備率(延長ベース) (西条・寺家排水区)	%	27	28	30	達成率	100
	床上浸水被害戸数 (西条排水区)	戸	0	0	0		0

## 3 コスト情報

	28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
収益的収入	182,090 千円	263,000 千円	272,971 千円	千円
収益的支出	281,183 千円	263,000 千円	272,971 千円	千円
差引	△ 99,093 千円	0 千円	0 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 27,395 千円	873 千円	1,649 千円	千円
資本的収入	31,057 千円	58,067 千円	199,414 千円	千円
資本的支出	108,655 千円	155,756 千円	283,835 千円	千円
差引	△ 77,598 千円	△ 97,689 千円	△ 84,421 千円	千円

## 平成 30 年度 事務事業シート ( 計画 )

### 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号 305 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	公共下水道事業(汚水)	下水道事業会計	
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	総合計画施策体系	3 - 5

### 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	生活環境の向上と河川や海域等の公共用水域の水質保全のため、市街地における生活排水等の汚水処理施設を整備し、衛生的で快適な生活環境を形成する。													
対 象 (誰・何を対象に)	公共下水道事業計画区域内の住民等 東広島処理区、黒瀬処理区、安芸津処理区、沼田川処理区(入野処理分区を除く)													
事業の概要 及び H30活動計画	<p><b>1 下水道経営の健全化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">28年度(決算)</th> <th style="text-align: center;">30年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td style="text-align: center;">101.6%</td> <td style="text-align: center;">104.1%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td style="text-align: center;">102.8%</td> <td style="text-align: center;">99.7%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理場、ポンプ場等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。</li> <li>使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。</li> <li>排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。</li> </ul> <p><b>【収益的支出 1,063,440千円】</b></p> <p>(1) 処理場管理(862,671千円)</p> <p>(2) 管渠・ポンプ場管理(119,929千円)</p> <p>(3) 使用料徴収事務委託(80,840千円)</p> <p><b>【資本的支出 10,200千円】</b></p> <p>(1) 水洗便所改造資金貸付金(10,200千円)</p> <p><b>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の健全化を図る。</li> <li>下水道未普及解消整備計画に基づき、汚水管渠等の整備を促進する。</li> <li>処理場施設を計画的に建設するとともに、長寿命化計画に基づき老朽化施設の改築を行う。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 2,710,536千円】</b></p> <p>(1) スtockマネジメント計画策定事前基礎調査(下水道施設)(42,276千円)</p> <p>(2) 汚水管渠基本・実施設計業務(258,000千円)</p> <p>(3) 汚水管渠建設・ポンプ設備設置工事(1,844,260千円)</p> <p>(4) 工事負担金(寺家、檜原地区)(81,000千円)</p> <p>(5) 長寿命化対策(東広島浄化センター受電設備等改築工事委託ほか)(347,000千円)</p> <p>(6) 東広島浄化センター11・12池増設設計業務(138,000千円)</p> <p><b>3 災害に強い下水道の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行の耐震基準に適合していない既存の下水道施設の耐震化を図る。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 128,600千円】</b></p> <p>(1) 下水道総合地震対策管渠等基礎調査及び実施計画策定(11,200千円)</p> <p>(2) 耐震化対策(処理場耐震補強工事委託(東広島・黒瀬))(117,400千円)</p>					経営分析指標	28年度(決算)	30年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	101.6%	104.1%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	102.8%	99.7%
経営分析指標	28年度(決算)	30年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	101.6%	104.1%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	102.8%	99.7%												
活動・結果指標	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)									
	新規供用開始面積	ha	59	50	27									
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	事務事業の目的の直接的な成果指標である公共下水道人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (実績値)	達成率	31年度 (目標値)	47年度 (目標値)					
	公共下水道人口普及率 (特定環境保全公共下水道を含む)	%	44.3	44.8	45.6			65.2						

### 3 コスト情報

	28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
収益的収入	4,028,594 千円	4,344,621 千円	4,186,737 千円	千円
収益的支出	4,143,075 千円	4,048,633 千円	3,900,207 千円	千円
差引	△ 114,481 千円	295,988 千円	286,530 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 264,737 千円	176,437 千円	153,438 千円	千円
資本的収入	1,487,639 千円	2,506,007 千円	3,199,672 千円	千円
資本的支出	2,840,545 千円	4,081,954 千円	4,680,990 千円	千円
差引	△ 1,352,906 千円	△ 1,575,947 千円	△ 1,481,318 千円	千円



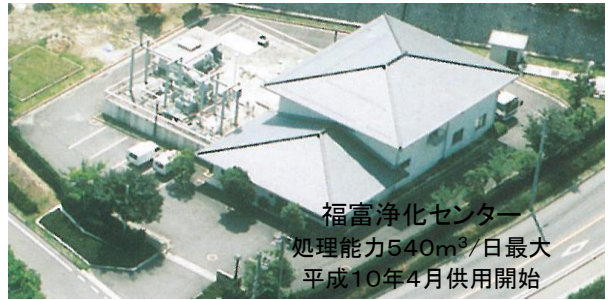
# 平成 30 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号 305 - 4	新規・継続	継続
事務事業名	特定環境保全公共下水道事業 下水道事業会計		混在
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道施設課	総合計画施策体系	3 - 5

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市街化区域以外の区域における生活排水を処理し、河川等の公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図る。													
対 象 (誰・何を対象に)	特定環境保全公共下水道事業計画区域内の住民等 福富処理区、豊栄処理区、沼田川処理区(入野処理分区)													
事業の概要 及び H30活動計画	<p><b>1 下水道経営の健全化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">28年度(決算)</th> <th style="text-align: center;">30年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td style="text-align: center;">75.7%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td style="text-align: center;">29.2%</td> <td style="text-align: center;">30.6%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理場、マンホールポンプ等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。</li> <li>使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。</li> <li>排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。</li> </ul> <p><b>【収益的支出 97,335千円】</b></p> <p>(1) 処理場管理(82,355千円)                  (2) 管渠・ポンプ場管理(13,090千円)                  (3) 使用料徴収事務委託(1,890千円)</p> <p><b>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の健全化を図る。</li> <li>処理場施設を計画的に建設するとともに、長寿命化計画に基づき老朽化施設の改築を行う。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 221,648千円】</b></p> <p>(1) スtockマネジメント計画策定事前基礎調査(下水道施設)(6,648千円)                  (2) 長寿命化対策(福富浄化センター水処理設備改築工事委託)(115,000千円)                  (3) 処理場施設建設(福富浄化センター汚泥脱水設備設置工事委託)(100,000千円)</p> <p><b>3 災害に強い下水道の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行の耐震基準に適合していない既存の下水道施設の耐震化を図る。</li> </ul> <p><b>【資本的支出 20,000千円】</b></p> <p>(1) 耐震化対策(福富浄化センター管理汚泥棟耐震補強工事委託)(20,000千円)</p>					経営分析指標	28年度(決算)	30年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	75.7%	100.0%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	29.2%	30.6%
経営分析指標	28年度(決算)	30年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	75.7%	100.0%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	29.2%	30.6%												
活動・結果 指 標	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)										
普及促進活動対象戸数	戸	44	100	100										
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	普及促進活動の直接的な成果である新規下水道接続戸数を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	一年度 (目標値)							
	新規接続戸数	戸	6	10	10		-							



## 3 コスト情報

	28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
収益的収入	181,168 千円	187,632 千円	224,972 千円	千円
収益的支出	253,976 千円	263,740 千円	229,870 千円	千円
差引	△ 72,808 千円	△ 76,108 千円	△ 4,898 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 68,704 千円	△ 70,382 千円	0 千円	千円
資本的収入	63,573 千円	112,792 千円	253,394 千円	千円
資本的支出	63,573 千円	112,792 千円	303,234 千円	千円
差引	0 千円	0 千円	△ 49,840 千円	千円

# 平成 30 年度 事務事業シート ( 計画 )

## 1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号 305 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	農業集落排水事業	下水道事業会計	
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道施設課	総合計画施策体系	3 - 5

## 2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	農業振興地域における生活排水を処理し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持および農村生活環境の改善を図る。													
対 象 (誰・何を対象に)	農業集落排水処理区域内の住民等 志和堀地区、板城地区、保田地区、大内原地区													
事業の概要 及び H30活動計画	<p><b>1 下水道経営の健全化</b> ・下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">28年度(決算)</th> <th style="text-align: center;">30年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td style="text-align: center;">78.8%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td style="text-align: center;">48.6%</td> <td style="text-align: center;">48.4%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場、マンホールポンプ等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。</li> <li>・使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。</li> <li>・排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。</li> </ul> <p><b>【収益的支出 96,743千円】</b>                      (1) 処理場管理(83,324千円)                      (2) 管渠・ポンプ場管理(11,203千円)                      (3) 使用料徴収事務委託(2,216千円)</p> <p><b>【資本的支出 1,800千円】</b>                      (4) 水洗便所改造資金貸付金(1,800千円)</p> <p><b>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</b>                      ・ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の健全化を図る。</p> <p><b>【資本的支出 37,500千円】</b>                      (1) 農業集落排水処理施設機能診断及び最適整備構想策定(志和堀・板城地区)(19,400千円)                      (2) 板城農業集落排水管渠更生実施設計業務(18,100千円)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>板城地区農業集落排水処理施設 処理能力519m<sup>3</sup>/日最大 平成14年4月供用開始</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>板城農集の陶管クラック状況 クラックから地下水流入</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クラック 侵入水</p> </div> </div>					経営分析指標	28年度(決算)	30年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	78.8%	100.0%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	48.6%	48.4%
経営分析指標	28年度(決算)	30年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	78.8%	100.0%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	48.6%	48.4%												
活動・結果指標	<b>【活動・結果指標名】</b>	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)									
	普及促進活動対象戸数	戸	30	150	150									
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	普及促進活動の直接的な成果である新規下水道接続戸数を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	<b>【成果指標名】</b>	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	一年度 (目標値)							
	新規接続戸数	戸	11	10	10	-	-							

## 3 コスト情報

	28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
収益的収入	181,921 千円	203,639 千円	228,768 千円	千円
収益的支出	241,915 千円	256,351 千円	232,223 千円	千円
差引	△ 59,994 千円	△ 52,712 千円	△ 3,455 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 57,111 千円	△ 48,100 千円	0 千円	千円
資本的収入	65,693 千円	68,351 千円	75,161 千円	千円
資本的支出	65,693 千円	68,351 千円	121,844 千円	千円
差引	0 千円	0 千円	△ 46,683 千円	千円